



株式  
会社 鶴見製作所

証券コード：6351

# 第68期報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

## CONTENTS

|                      |      |
|----------------------|------|
| トップメッセージ .....       | P1   |
| 部門別の概況・財務ハイライト ..... | P2   |
| トピックス .....          | P3~4 |
| 連結財務諸表 .....         | P5   |

|             |       |
|-------------|-------|
| 財務諸表 .....  | P6    |
| 会社概要 .....  | P7    |
| 株式の状況 ..... | P8    |
| 製品紹介 .....  | P9~10 |



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第68期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、相次いだ自然災害の影響はありましたが、政府や日銀の各種政策を背景として雇用及び所得環境や企業収益の改善、個人消費の持ち直しなど引き続き緩やかな回復基調で推移しました。

また、海外経済におきましては、全体としては緩やかな回復が期待されるものの、米国の保護主義政策に伴う貿易摩擦への懸念や中国経済の減速など先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、中期3ヶ年経営計画「BASE100」の初年度キーワードを「深謀遠慮」として、あらゆる可能性を追求し、綿密な計画のもと業績の向上に努めました。

国内部門では、建設機械市場におきまして、レンタル業者向けの水中ポンプ、高圧洗浄機の売上高が増加しました。

設備機器市場におきましては、鉄鋼・電力市場の売上が微増、工場設備向け脱水機の需要も堅調でしたが、水処理プラントなどの売上が減少しました。

海外部門では、米国市場におきまして、建設市場及び鉱山市場が堅調に推移し、アジア市場におきましては、中国市場におきまして、ポンプ需要が回復基調で推移し、香港とシンガポール市場での建設ポンプの需要が減少しましたが、インフラ物件と設備市場の受注により全体的な売上高は増加しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、434億61百万円と前連結会計年度比7.7%の増収、営業利益は、49億45百万円と前連結会計年度比6.6%の増益、

経常利益は、57億34百万円と前連結会計年度比21.9%増益、親会社株主に帰属する当期純利益は、40億13百万円と前連結会計年度比23.5%の増益となりました。

なお、当期末の配当金につきましては、普通株式1株につき13円とし、創業95周年記念配当として5円を加え、18円とさせていただきます。これにより中間配当金（1株につき13円）を含めました当事業年度の年間配当金は、1株につき31円となります。

今後の経済見通しにつきましては、一部に弱さが残るものの、引き続き緩やかな回復基調で推移することが期待されますが、米国の通商政策が世界経済に与える影響、中国経済の動向、世界経済の不確実性や金融資本市場の変動等によるリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

そのような状況の中で当社グループにおきましては、綿密な計画のもと課題を着実に実行することで業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



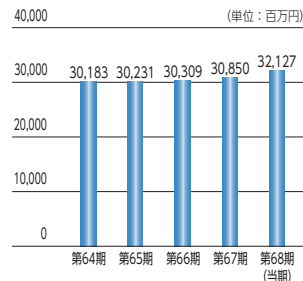
2019年6月

代表取締役社長

辻本 治

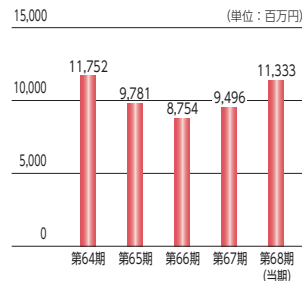
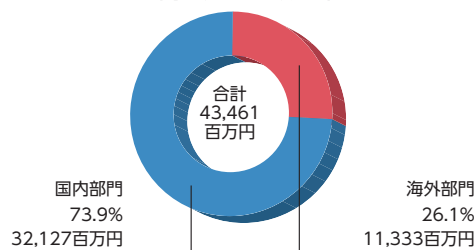
# 部門別の概況・財務ハイライト Segment Information / Financial Highlights

## ●国内部門



## ●海外部門

### 部門別売上構成比率



国内部門につきましては、建設機械市場におきまして、レンタル業者向けの水中ポンプ、高圧洗浄機などの販売台数が堅調に推移し、売上高は増加しました。

設備機器市場におきましては、鉄鋼・電力市場の売上が微増となり、工場設備向け脱水機の需要も堅調に推移しましたが、水処理プラントなどの売上が減少した結果、売上高は微減となりました。

これらの結果、売上高は、321億27百万円と前連結会計年度比4.1%の増収となりました。

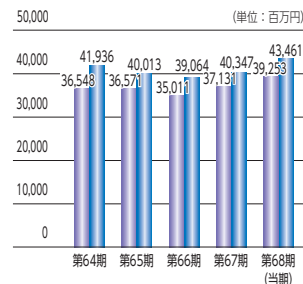
海外部門につきましては、米国市場におきまして、建設市場及び鉱山市場が引き続き堅調に推移しました。

アジア市場におきましては、中国市場におきまして、ポンプ需要が回復基調で推移しました。また、香港・シンガポール市場での建設ポンプの需要が減少しましたが、インフラ物件と設備市場受注により全体的な売上高は増加しました。

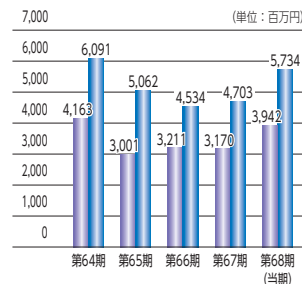
これらの結果、売上高は、113億33百万円と前連結会計年度比19.3%の増収となりました。

■ 単体 ■ 連結

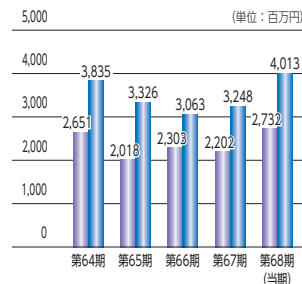
## ●売上高



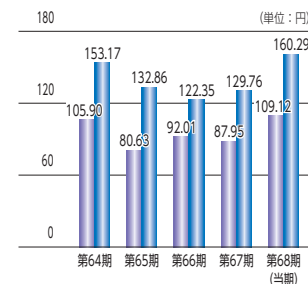
## ●経常利益



## ●親会社株主に帰属する当期純利益



## ●1株当たり当期純利益



## 納入事例

## ポンプシステム部

### 雨水排水設備

先行待機（全速）形立軸斜流ポンプ PSV-R型

#### 納入機器仕様

型 式：1400PSV-R 原動機  
吐出し口径：1400mm (電動機)出力：670kW  
全 揚 程：9.5m  
吐 出 量：300m<sup>3</sup>/min

吐出し口径  
1400mm

#### 雨水ポンプとして

東京都下水道局森ヶ崎水再生センターは、1967年（昭和42年）に稼働した日本最大の下水処理場で、処理能力は日量154万m<sup>3</sup>です。今回更新した雨水ポンプは“先行待機形”を採用することで、ポンプ井の水位に関係なく全速で待機運転が可能となるため、頻繁な起動／停止がなく、待機状態から安心して連続排水運転ができます。

本ポンプの水中軸受は、待機運転での気中連続運転(1時間以上)状況下で、温度上昇に耐えられるドライ潤滑形の無注水軸受(特殊セラミックタイプ)を採用しています。



据付完了



据付完了



ポンプ組立完成

### コンディションモニタリングシステム



内部

納入事例

VP営業部

## 地熱発電プラント向け設備

復水器抽気用液封式真空ポンプ VL型

### フィリピン地熱発電所にて

運転開始から長期間経過したプラントであった為、既設の他社製真空ポンプも老朽化し、また同時に地熱ガス量の変動もあって既設機では能力が不足していた為に更新計画が進められていました。現地発電プラントへの訪問、並びに国内外向けの納入実績のPRや本案件の詳細仕様打合せを継続的に実施した結果、受注いたしました。

#### 納入機器仕様

① 型 式：250VL4280G

□ 径：400mm  
出 力：280kW  
吸 込 圧 力：33.6kPaA  
吸 込 量：184m<sup>3</sup>/min

② 型 式：200VL6225G

□ 径：300mm  
出 力：225kW  
吸 込 圧 力：41kPaA  
吸 込 量：141.6m<sup>3</sup>/min

③ 型 式：300VL6400G

□ 径：500mm  
出 力：400kW  
吸 込 圧 力：36.6kPaA  
吸 込 量：277.5m<sup>3</sup>/min



▶ ご紹介動画

「復水器真空ポンプユニット」  
ご紹介動画をご覧ください。



①250VL4280G



②200VL6225G



③300VL6400G

## ●連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

| 科 目                 | 前 期<br>(2018年3月31日現在) | 当 期<br>(2019年3月31日現在) |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>資産の部</b>         |                       |                       |
| 流動資産                | 41,734                | 43,657                |
| 固定資産                | 26,964                | 28,503                |
| 有形固定資産              | 11,135                | 12,545                |
| 無形固定資産              | 588                   | 629                   |
| 投資その他の資産            | 15,241                | 15,328                |
| <b>Point① 資産合計</b>  | <b>68,699</b>         | <b>72,160</b>         |
| <b>負債の部</b>         |                       |                       |
| 流動負債                | 10,001                | 10,650                |
| 固定負債                | 2,055                 | 2,104                 |
| <b>Point② 負債合計</b>  | <b>12,057</b>         | <b>12,755</b>         |
| <b>純資産の部</b>        |                       |                       |
| 株主資本                | 53,170                | 56,556                |
| 資本金                 | 5,188                 | 5,188                 |
| 資本剰余金               | 7,896                 | 7,896                 |
| 利益剰余金               | 42,486                | 45,874                |
| 自己株式                | △ 2,402               | △ 2,402               |
| その他の包括利益累計額         | 2,590                 | 1,996                 |
| その他有価証券評価差額金        | 2,069                 | 1,470                 |
| 為替換算調整勘定            | 544                   | 561                   |
| 退職給付に係る調整累計額        | △ 22                  | △ 35                  |
| 非支配株主持分             | 881                   | 852                   |
| <b>Point③ 純資産合計</b> | <b>56,642</b>         | <b>59,405</b>         |
| <b>負債純資産合計</b>      | <b>68,699</b>         | <b>72,160</b>         |

### Point① 資産合計

資産につきましては、72,160百万円と、前連結会計年度末に比べ3,461百万円増加しました。これは、主にたな卸資産が1,442百万円、有形固定資産が1,410百万円、長期貸付金の増加等により投資その他の資産のその他が642百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## ●連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

| 科 目                    | 前 期<br>(2017年4月1日から<br>2018年3月31日まで) | 当 期<br>(2018年4月1日から<br>2019年3月31日まで) |
|------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高                    | 40,347                               | 43,461                               |
| 売上原価                   | 26,890                               | 29,036                               |
| <b>売上総利益</b>           | <b>13,456</b>                        | <b>14,424</b>                        |
| 販売費及び一般管理費             | 8,818                                | 9,479                                |
| <b>営業利益</b>            | <b>4,637</b>                         | <b>4,945</b>                         |
| 営業外収益                  | 529                                  | 893                                  |
| 営業外費用                  | 463                                  | 104                                  |
| <b>経常利益</b>            | <b>4,703</b>                         | <b>5,734</b>                         |
| 特別利益                   | 314                                  | —                                    |
| 特別損失                   | 280                                  | —                                    |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>     | <b>4,737</b>                         | <b>5,734</b>                         |
| 法人税、住民税及び事業税           | 1,530                                | 1,812                                |
| 法人税等調整額                | △ 97                                 | △ 156                                |
| <b>当期純利益</b>           | <b>3,303</b>                         | <b>4,078</b>                         |
| 非支配株主に帰属する当期純利益        | 54                                   | 64                                   |
| <b>親会社株主に帰属する当期純利益</b> | <b>3,248</b>                         | <b>4,013</b>                         |

## ●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

| 科 目                     | 前 期<br>(2017年4月1日から<br>2018年3月31日まで) | 当 期<br>(2018年4月1日から<br>2019年3月31日まで) |
|-------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>4,160</b>                         | <b>3,455</b>                         |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △ 1,451                              | △ 2,808                              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | △ 652                                | △ 573                                |
| <b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b> | <b>△ 197</b>                         | <b>127</b>                           |
| <b>現金及び現金同等物の増減額</b>    | <b>1,859</b>                         | <b>200</b>                           |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 11,464                               | 13,323                               |
| <b>現金及び現金同等物の期末残高</b>   | <b>13,323</b>                        | <b>13,523</b>                        |

### Point② 負債合計

負債につきましては、12,755百万円と、前連結会計年度末に比べ698百万円増加しました。これは、主に支払手形及び買掛金が465百万円、未払法人税等が262百万円それぞれ増加したことによるものであります。

### Point③ 純資産合計

純資産につきましては、59,405百万円と、前連結会計年度末に比べ2,763百万円増加しました。これは、主に利益剰余金が3,387百万円増加し、その他有価証券評価差額金が599百万円減少したことによるものであります。

## ●貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

| 科 目          | 前 期<br>(2018年3月31日現在) | 当 期<br>(2019年3月31日現在) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>資産の部</b>  |                       |                       |
| 流動資産         | 30,859                | 32,375                |
| 固定資産         | 26,620                | 26,639                |
| 有形固定資産       | 9,269                 | 9,669                 |
| 無形固定資産       | 289                   | 337                   |
| 投資その他の資産     | 17,061                | 16,632                |
| 資産合計         | 57,480                | 59,014                |
| <b>負債の部</b>  |                       |                       |
| 流動負債         | 9,214                 | 9,466                 |
| 固定負債         | 2,235                 | 2,043                 |
| 負債合計         | 11,450                | 11,510                |
| <b>純資産の部</b> |                       |                       |
| 株主資本         | 44,137                | 46,243                |
| 資本金          | 5,188                 | 5,188                 |
| 資本剰余金        | 7,896                 | 7,896                 |
| 利益剰余金        | 33,454                | 35,560                |
| 自己株式         | △ 2,402               | △ 2,402               |
| 評価・換算差額等     | 1,893                 | 1,261                 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,893                 | 1,261                 |
| 純資産合計        | 46,030                | 47,504                |
| 負債純資産合計      | 57,480                | 59,014                |

## ●損益計算書の要旨

(単位:百万円)

| 科 目          | 前 期<br>(2017年4月1日から<br>2018年3月31日まで) | 当 期<br>(2018年4月1日から<br>2019年3月31日まで) |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高          | 37,131                               | 39,253                               |
| 売上原価         | 26,877                               | 28,521                               |
| 売上総利益        | 10,253                               | 10,731                               |
| 販売費及び一般管理費   | 7,044                                | 7,496                                |
| 営業利益         | 3,209                                | 3,235                                |
| 営業外収益        | 418                                  | 806                                  |
| 営業外費用        | 456                                  | 99                                   |
| 経常利益         | 3,170                                | 3,942                                |
| 特別利益         | 314                                  | —                                    |
| 特別損失         | 280                                  | —                                    |
| 税引前当期純利益     | 3,204                                | 3,942                                |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,094                                | 1,342                                |
| 法人税等調整額      | △ 91                                 | △ 132                                |
| 当期純利益        | 2,202                                | 2,732                                |

ホームページのご案内

<https://www.tsurumipump.co.jp/>

会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

商 号  株式会社 鶴見製作所  
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

創 業 1924年1月 5 日  
設 立 1948年2月12日  
資本金 51億88百万円  
従業員 976名 (グループ計)  
(注) 従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

## ●主要な事業内容

当社グループは水中ポンプを主力とした各種ポンプ、環境装置とその関連機器の製造、仕入及び販売（輸出入を含む）並びに賃貸を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、古物商、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

## ●役 員

|         |           |
|---------|-----------|
| 代表取締役社長 | 辻 本 治     |
| 取締役副社長  | 芝 上 英 二   |
| 常務取締役   | 西 村 武 幸   |
| 取締役執行役員 | 織 田 浩 典   |
| 取締役執行役員 | 上 田 孝 徳   |
| 取締役執行役員 | 鞠 山 正 継   |
| 取締役     | 掛 川 雅 仁   |
| 取締役     | 鹿 内 茂 行   |
| 取締役     | 田 中 祥 博   |
| 執行役員    | 下 田 剛 史   |
| 執行役員    | 足 立 宗 一 郎 |
| 執行役員    | 高 田 功 二   |
| 執行役員    | 原 秋 佳     |
| 執行役員    | 池 田 茂     |
| 執行役員    | 石 村 博 文   |
| 執行役員    | 桂 田 暢 哉   |

(注) 取締役掛川雅仁氏、鹿内茂行氏及び田中祥博氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

## ●主要な営業所及び工場

大 阪 本 店 ☎ 538-8585 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号  
☎ (06) 6911-2351 (代)  
東 京 本 社 ☎ 110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号  
☎ (03) 3833-9765 (代)  
京 都 工 場 ☎ 614-8163 京都府八幡市上奈良長池1番1号  
☎ (075) 971-0831  
米 子 工 場 ☎ 683-0851 鳥取県米子市夜見町2700番地  
☎ (0859) 29-0811  
北海道支店 ☎ 065-0020 札幌市東区北20条東17丁目1番5号  
☎ (011) 787-8385  
東 北 支 店 ☎ 984-0042 仙台市若林区大和町4丁目9番11号  
☎ (022) 284-4107  
東 京 支 店 ☎ 110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号  
☎ (03) 3833-0331  
北関東支店 ☎ 370-0046 群馬県高崎市江木町1716番地 1  
☎ (027) 310-1122  
北 陸 支 店 ☎ 920-0059 石川県金沢市示野町西8番地  
☎ (076) 268-2761  
中 部 支 店 ☎ 453-0853 名古屋市中村区牛田通2丁目19番地  
☎ (052) 481-8181  
近 畿 支 店 ☎ 538-0054 大阪市鶴見区緑2丁目1番28号  
☎ (06) 6911-2311  
中 国 支 店 ☎ 731-5132 広島市佐伯区吉見園1番21号  
☎ (082) 923-5171  
四 国 支 店 ☎ 761-8075 香川県高松市多肥下町1554番地28  
☎ (087) 815-3535  
九 州 支 店 ☎ 812-0004 福岡市博多区榎田2丁目9番地30号  
☎ (092) 452-5001

### 営業所

札幌・旭川・仙台・青森・郡山・盛岡・山形・秋田・高崎・宇都宮・長野・新潟・東京第一・東京第二・千葉・横浜・大宮・名古屋第一・名古屋第二・静岡・岐阜・浜松・金沢・富山・福井・大阪第一・大阪第二・京都・滋賀・阪奈・和歌山・神戸・姫路・北近畿・広島・岡山・山口・米子・高松・松山・福岡・熊本・鹿児島・大分・宮崎・沖縄

## ●子会社及び関連会社

株式会社ツルミテクノロジサービス ☎06-6911-2351  
☎ 538-0053 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番43号  
株式会社北條モータース ☎028-656-7071  
☎ 321-0921 栃木県宇都宮市瑞穂3丁目12番地13  
H&E TSURUMI PUMP CO.,LTD. ☎852-2730-7208  
Unit 2503-5,25/F, Ocean Building, 80 Shanghai Street, Kowloon, Hong Kong  
TSURUMI (SINGAPORE) PTE. LTD. ☎65-6760-8338  
48 Toh Guan Road East, #01-138, Enterprise Hub, Singapore 608586  
TSURUMI (AMERICA) INC. ☎1-630-793-0127  
1625 Fullerton Court, Glendale Heights, Illinois 60139, U.S.A.  
TSURUMI PUMP TAIWAN CO., LTD. ☎886-3-450-1335  
中華民国台湾桃園市平鎮區東龍街1191巷118號  
SHANGHAI TSURUMI PUMP CO., LTD. ☎86-21-3119-7776  
中華人民共和国上海市奉賢区航誼路386号3幢2楼  
TSURUMI VACUUM ENGINEERING (SHANGHAI) CO., LTD. ☎86-21-5724-2030  
中華人民共和国上海市奉賢区航誼路386号3幢1楼  
SHANDONG TSURUMI HONGQI ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY CO., LTD. ☎86-536-2968061  
中華人民共和国山東省濰坊市濟海經濟開發区渤海路00518号  
HANGZHOU CNP-TSURUMI PUMP CO., LTD. ☎86-571-88517209  
中華人民共和国浙江省杭州市余杭区径山鎮小古城村  
TSURUMI PUMP KOREA CO., LTD. ☎82-2-701-6356  
大韓民国ソウル特別市麻浦区麻浦大路127コンドクワンナムビルディング728号室  
TSURUMI PUMP (THAILAND) CO., LTD. ☎66-2-294-2886  
587/3 Rama 3 Road, Bangpompang, Yannawa, Bangkok 10120, Thailand  
TSURUMI PUMP VIET NAM CO., LTD. ☎84-28-3620-8621  
Plot HTD6e, Road14A, Hiep Phuoc Industrial Park (Phase2), Hiep Phuoc Commune, Nha Be District, Ho Chi Minh City, Viet Nam  
TSURUMI PUMP MIDDLE EAST FZCO ☎971-4-214-6375  
6WA 323, Dubai Airport Free Zone, P.O. Box 371731, Dubai, United Arab Emirates  
TSURUMI PUMP (M) SDN. BHD. ☎60-3-7803-3373  
No. 11 Jalan PJU3/49, Sunway Damansara Technology Park, 47810 Petaling Jaya, Selangor Darul Ehsan, Malaysia  
PT. TSURUMI POMPA INDONESIA ☎62-21-2907-0425  
Mega Glodok Kemayoran Lt. UG Blok A5 No.1-2, Jl. Angkasa Kav. B-6, Jakarta Pusat 10610, Indonesia

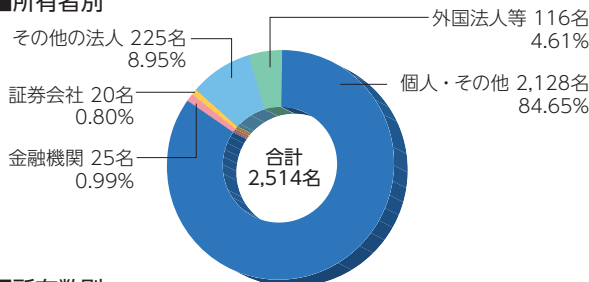
- 発行可能株式総数 100,000,000株
- 発行済株式の総数 27,829,486株
- 株主数 2,514名
- 大株主

| 株主名                                       | 持株数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
|-------------------------------------------|-------------|-------------|
| 有限会社 ツルミ興産                                | 1,904       | 7.61        |
| ツルミ共栄会                                    | 1,633       | 6.52        |
| 株式会社 三井住友銀行                               | 1,242       | 4.96        |
| GOLDMAN,SACHS&CO.REG                      | 878         | 3.51        |
| 株式会社 三菱UFJ銀行                              | 700         | 2.80        |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                   | 652         | 2.61        |
| デンヨー株式会社                                  | 648         | 2.59        |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                 | 603         | 2.41        |
| THE BANK OF NEW YORK-JASDECTREATY ACCOUNT | 535         | 2.14        |
| 株式会社 有伸興産                                 | 518         | 2.07        |

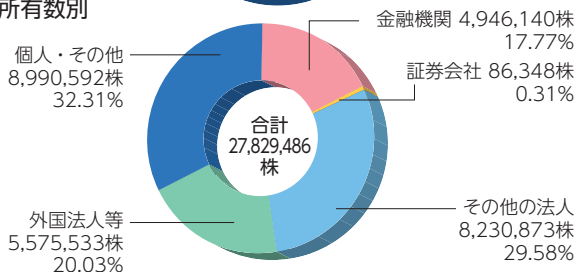
(注) 当社は自己株式2,791千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ●株式の状況

### ■所有者別



### ■所有数別



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載します。  
<https://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html>

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

# 水中ノンクログポンプB型 —高効率モデル—

ポンプ効率・異物通過性能・吐出し水量UP

吐出  
口 径 **200・250・300・350mm** 出 力 **22~75kW**



## 技術提案ポイント

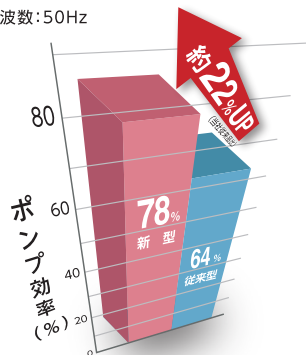
### 高効率化

最適設計により、従来型と比較して最高効率を引上げ**ポンプの高効率化による省エネを実現。**(当社比)

出力45kWでのポンプ効率比較 (例)

■吐出し口径: 250mm

■周波数: 50Hz

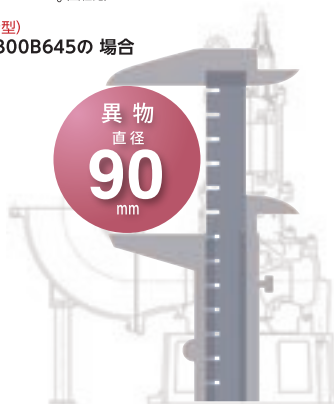


### 高通過性能

最新の解析技術により、従来型と比較して**異物通過径の大幅な改善を実現。**(当社比)

(新型)

※300B645の場合



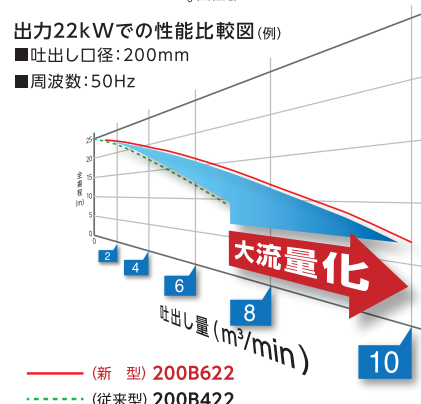
### 大流量化

大流量化により、最大流量域で従来型と比較して**ワンランク低出力のポンプを選定可能。**(当社比)

出力22kWでの性能比較図 (例)

■吐出し口径: 200mm

■周波数: 50Hz



## 技術提案ポイントによるメリット

### コストダウン

ポンプの小口径化により、ポンプはもちろん**逆止弁・仕切弁などを含む配管設備のイニシャルコスト低減が期待**できます。

### セーブエナジー

ポンプの高効率化により、**消費電力の削減効果が期待**できます。

### 作業効率アップ

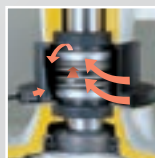
ポンプの小口径化・低出力化により、**ポンプ搬入・設置の容易化が期待**できます。

## オイルリフター 標準装備

国内外特許登録済み



万が一、オイルが減少してもメカニカルシール上部摺動面の潤滑および冷却を安定維持し、**メカニカルシールの長寿命化**が図れます。



動画



特設ページ



# 機能強化用レンタルのご提案

## 小中規模排水機場・調整池にて排水量増加

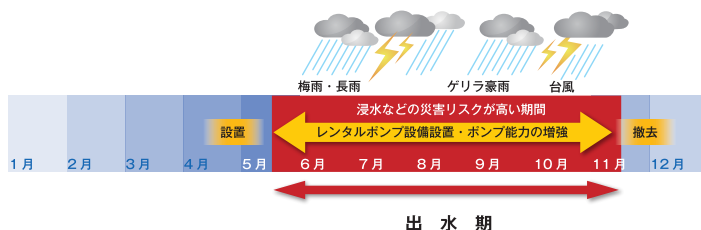
近年、想定外のゲリラ豪雨や大型台風による水害・災害が多発する中、ポンプ排水量や降雨強度の見直しが必要となってきています。

そこに目を付けたのが、

### 『既存ポンプ+レンタルポンプ』にて 排水量を増加させる 機能増強安心プラン!!

当初の排水量が、任意の期間のみ安価なレンタルポンプを  
附帯することにより、20%~100%程度(※)まで増強可能!!

※ 機場の形状・スペース・周囲の環境等諸条件により、ポンプが設置できない場合もあります。



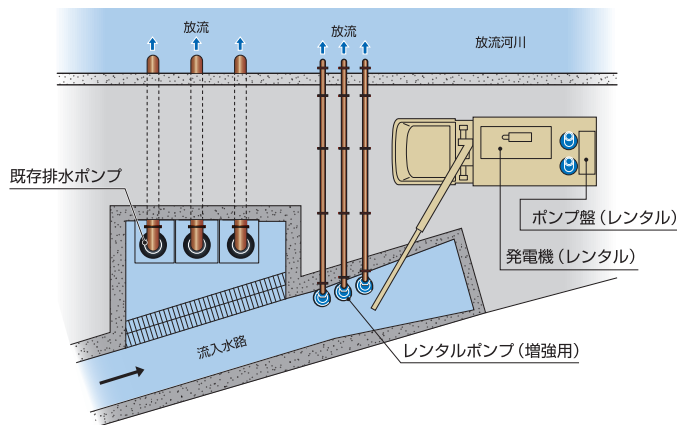
雨水・汚水排水タイプ  
B型



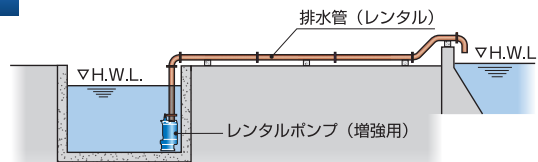
雨水・河川排水タイプ  
KRS型

### 設置イメージ

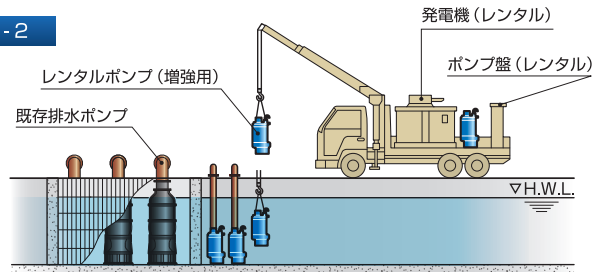
#### 平面図



#### 断面図-1



#### 断面図-2



## Amenics (アメニクス) とは、

Amenity (快適) と工学を表す接尾語 -ics を  
合体させた、ツルミのオリジナルキーワードです。

人に気持ちよく、都市に心地いい、  
地球にやさしい技術の提唱を宣言したものです。

## Amenics の4つのコンセプト

快適な暮らしを形にする  
**Base Amenics**

快適な作業環境をつくる  
**Work Amenics**

地球を守る  
**Earth Amenics**

水と人とのふれあいを創造する  
**Water Amenics**

ツルミ発、人と地球への 快適工学  
**Amenics**



キャラクター  
アメニ君



## 単元(100株)未満株式 買取・買増制度のご案内

当社では、単元株式(100株)に満たない株式の買取を行う「単元未満株式買取制度」、単元株式に不足する株式を買増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」を導入しておりますのでご活用ください。

### 買増制度例



### 買取制度例



### お手続きについて

単元未満株式が記録されている口座によって、お手続きの窓口が異なります。

1. 証券会社の口座に記録されている単元未満株式  
お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
2. 特別口座に記録されている単元未満株式  
当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせください。  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

### ご注意事項

買増、買取単価は、そのご請求が当社株主名簿管理人事務取扱場所へ到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格です。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、  
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。